

17
下段中
聖徒伝 176

「苦難の中の 希望の礎」

イザヤ書36～37章

アッシリアの侵略

アウトライン

0. イントロダクション

I. アッシリアからの使者 36章

II. 神の預言とヒゼキヤの祈り

37章1～20節

III. 主の言葉・アッシリア王の末路

37章21～38節

IV. まとめと適用

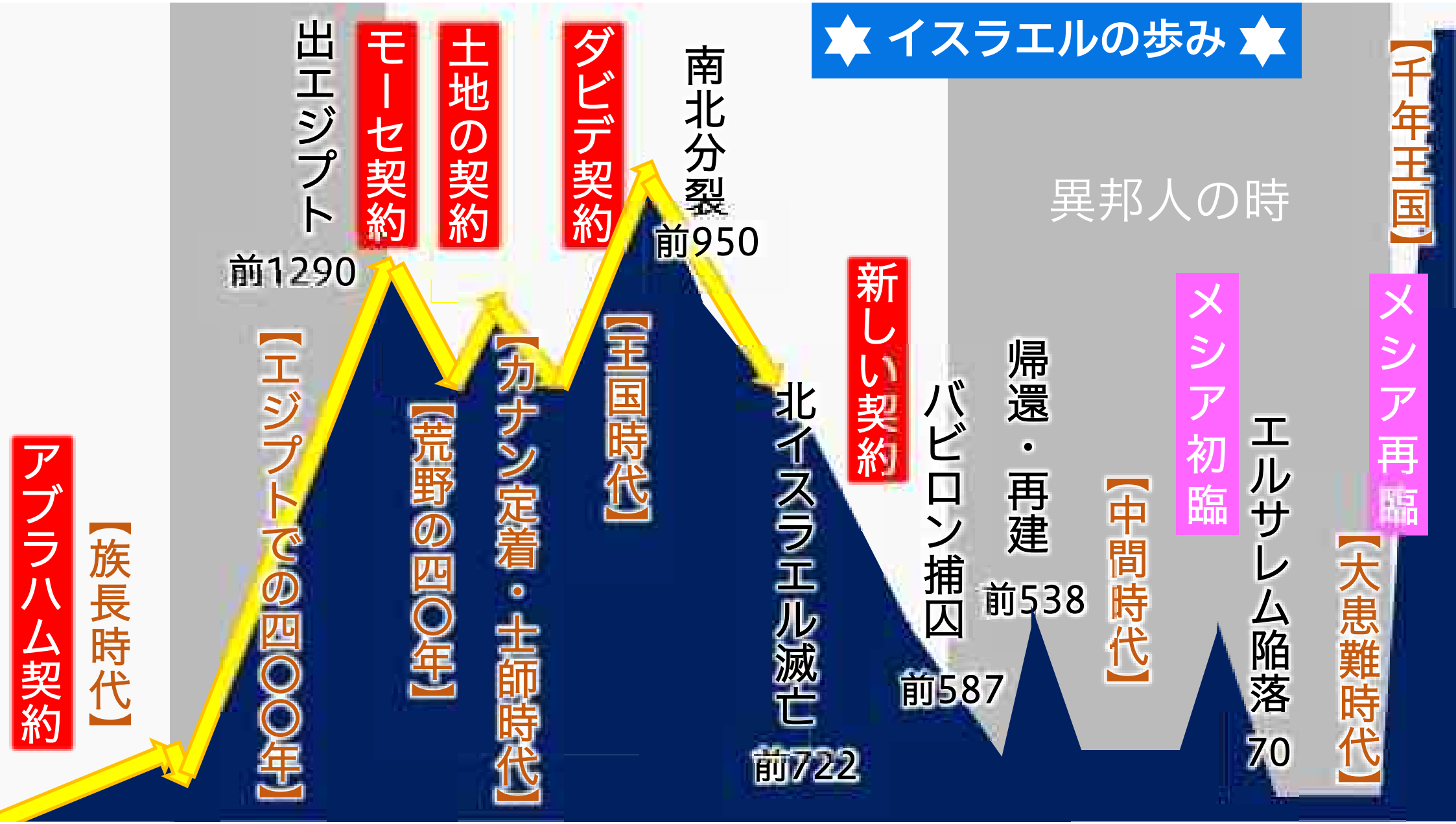
ヒゼキヤの祈りに学ぶ

苦難の中の希望の礎



アッシリアの浮彫

★ イスラエルの歩み ★



ヒゼキヤ王の時代とは？

■ 預言者イザヤは、エルサレムで4人の王に仕えた。

①ウジヤ王(善) → ②ヨタム王(善)

→ ③アハズ王(悪) → ④ヒゼキヤ王(善)

■ ヒゼキヤは、悪王アハズの後に、信仰を回復。
エルサレムに地下水道を建設。防備を固めた。

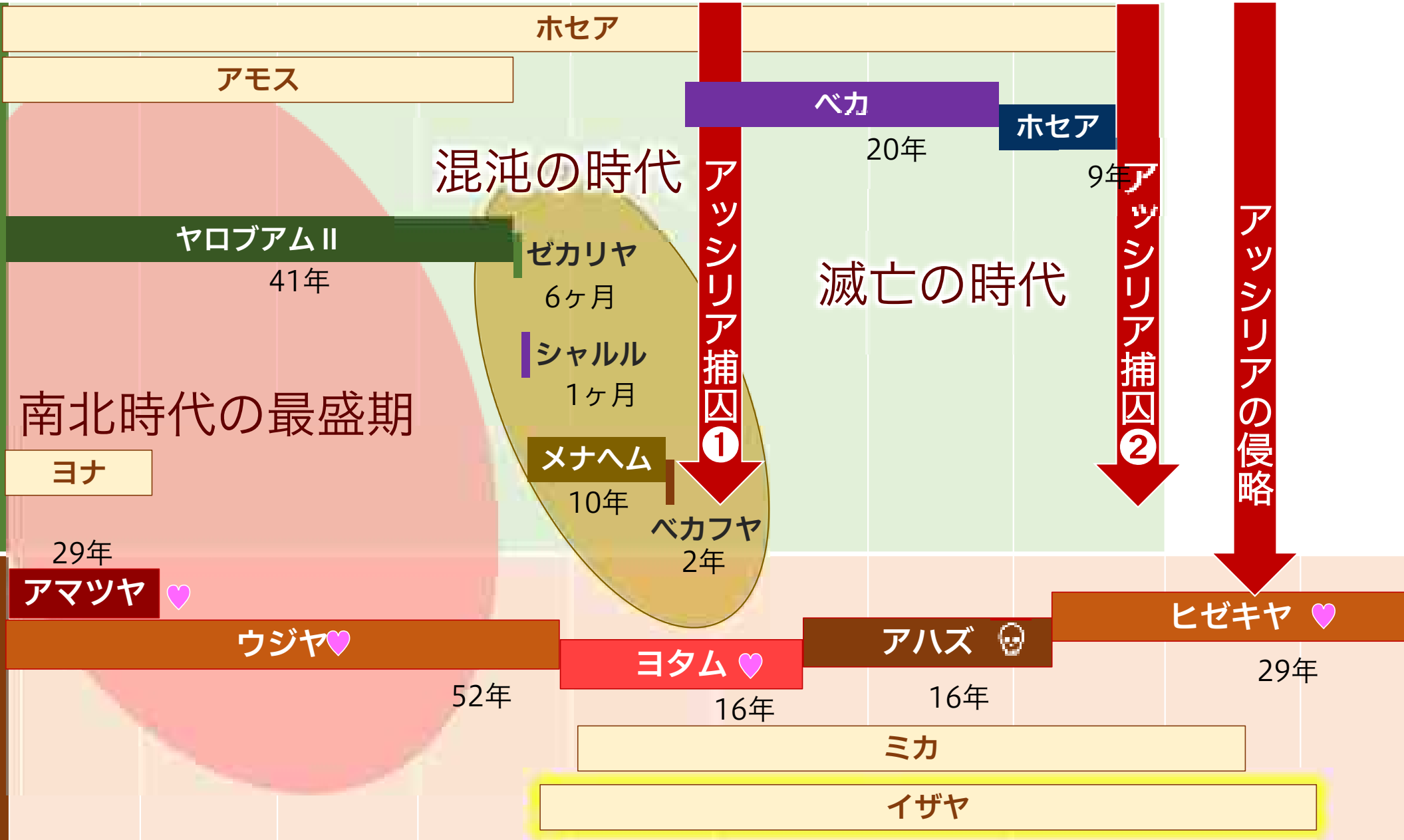
■ ヒゼキヤの時代に、ついに北王国は滅亡。
アッシリア軍は、南王国にも攻め込んできた!!



南王国史上
最悪の危機!!

北王国イスラエル

南王国ユダ



混沌の時代

滅亡の時代

南北時代の最盛期

アツシリア捕囚①

アツシリア捕囚②

アツシリアの侵略

アッシリア



■ BC722年 →北王国の滅亡・アッシリア捕囚

■ BC701年(ヒゼキヤ治世14年) →南王国に侵略・エルサレム包囲

1. アッシリアからの使者

イザヤ書36章



ユダの都市・ラキシュ陥落の浮彫

降伏勧告 アッシリアの侵攻 イザヤ36:1

ヒゼキヤ王の第十四年(BC701年)のことであった。
アッシリアの王**センナケリブ**が、ユダのすべての
城壁のある町々に攻め上り、これを取った。

- 北王国を滅ぼしたサルゴン2世の死後、
アッシリアは、一時勢力を弱め、各地で反乱が。
→この間に**ヒゼキヤ**が即位。地下水道を築き、
都の防備を固め、アッシリアの侵攻に備えた。

- 力を盛り返したアッシリアの**センナケリブ王**が、
反乱した南王国に、ついに攻め上ってきた。



降伏勧告 布さらしの大路 イザヤ36:2

アッシリアの王は、**ラブ・シャケ**を大軍とともに**ラキシュ***からエルサレムのヒゼキヤ王のところへ送った。**ラブ・シャケ**は**布さらしの野**への**大路***にある、上の池の水道のそばに立った。

*ラキシュ…ユダの都市。アッシリアが陥落。

*アラムと北王国の侵略時、悪王アハズに、イザヤが警告を告げた場所(イザヤ7章)。

■アハズ王の治世の後半からは、南王国はアッシリアに苦しめられ続けた。

→善王ヒゼキヤの時代に終止符が!!



降伏勧告 ヒゼキヤの重臣たち イザヤ36:3

ヒルキヤの子である宮廷長官エルヤキム*、書記シェブナ*、およびアサフの子である史官ヨアフは、彼のところに出て行った。

- エルサレム包囲は告知済み(イザヤ22章)
➔ ヒゼキヤの時代、一時的に守られるが、南王国の滅亡への流れは不可避。

*エルヤキム …王家を守る忠実な家臣

*シェブナ …権力と欲望に囚われた偽善者



降伏勧告 ラブ・シャケ イザヤ36:4～5

ラブ・シャケは彼らに言った。「ヒゼキヤに伝えよ。大王、アッシリアの王がこう言っておられる。『**いったい、おまえは何に拠り頼んでいるのか***。』

口先だけのことばが、戦略であり戦力だと言うのか。今おまえは、だれに拠り頼んでいるのか。私に反逆しているが。」

＊信仰者をぐらつかせる、常套句

➡主なる神も神の言葉も無力と思わせる



降伏勧告 揺さぶり イザヤ36:6~7

おまえは、あの傷んだ葦の杖、エジプトに拠り頼んでいるが、それは、それに寄りかかる者の手を刺し貫くだけだ。エジプトの王ファラオは、すべて彼に拠り頼む者にそうするのだ。

おまえは私に「われわれは、われわれの神、【主】に拠り頼む」と言う。その主とは、ヒゼキヤがその高き所と祭壇を取り除いて、ユダとエルサレムに「この祭壇の前で拝め」と言った、そういう主ではないか。

- エジプトもアッシリアに攻撃されていた!!
- イスラエルの神に立ち返っても無意味!!



状況を知り尽くし
揺さぶっている!!

降伏勧告 誘惑 イザヤ36:8~9

さあ今、私の主君、アッシリアの王と賭けをしないか。もし、おまえのほうで乗り手をそろえることができるのなら、おまえに二千頭の馬を与えよう。

おまえは戦車と騎兵のことでエジプトに拠り頼んでいるが、私の主君の最も小さい家来である総督一人さえ追い返せないのだ。

■ アッシリアの軍門に下れば、馬二千頭を付与。

➡ 今度は、物的不安に訴えての揺さぶり



降伏勧告 神を騙る イザヤ36:10~11

今、私がこの国を滅ぼすために上って来たのは、【主】を差し置いてのことであろうか。

【主】が私に「この国に攻め上って、これを滅ぼせ」と言われたのだ。』」

エルヤキムとシェブナとヨアフは、ラブ・シャケに言った。「どうか、しもべたちにはアラム語(当時の公用語)で話してください。われわれはアラム語が分かりますから。城壁の上にいる民が聞いているところでは、われわれにユダのことばで話さないでください」

➡主の言葉を騙っての揺さぶり



降伏勧告 民の揺さぶり イザヤ36:12~13

ラブ・シャケは言った。「私の主君がこれらのことを告げに私を遣わされたのは、おまえの主君や、おまえのためだろうか。むしろ、城壁の上に座っている者たちのためではないか。彼らはおまえたちと一緒に、自分の糞を食らい、自分の尿を飲むようになるのだ。」

ラブ・シャケは突っ立って、ユダのことばで大声で叫んだ。「大王、アッシリアの王のことばを聞け。」

➡聞いているエルサレムの民への揺さぶり



降伏勧告 信仰の揺さぶり イザヤ36:14~15

王はこう言っておられる。『ヒゼキヤにごまかされるな。あれは、おまえたちを救い出すことができないからだ。』

ヒゼキヤは、「【主】が必ずわれわれを救い出してください。この都は決してアッシリアの王の手に渡されることはない」と言って、おまえたちに【主】を信頼させようとするが、そうはさせない。』

➡主への信仰そのものへの揺さぶり



降伏勧告 降伏勧告 イザヤ36:16~17

ヒゼキヤの言うことを聞くな。アッシリアの王がこう言っておられるからだ。『私と和を結び、私に降伏せよ。そうすれば、おまえたちはみな、自分のぶどうと自分のいちじくを食べ、自分の井戸の水を飲めるようになる。』

その後私は来て、おまえたちの国と同じような国におまえたちを連れて行く*。そこは穀物と新しいぶどう酒の地、パンとぶどう畑の地である。

*大規模な強制移住政策が、アッシリアの特徴

➡揺さぶりの末の降伏勧告。生活の保障も。

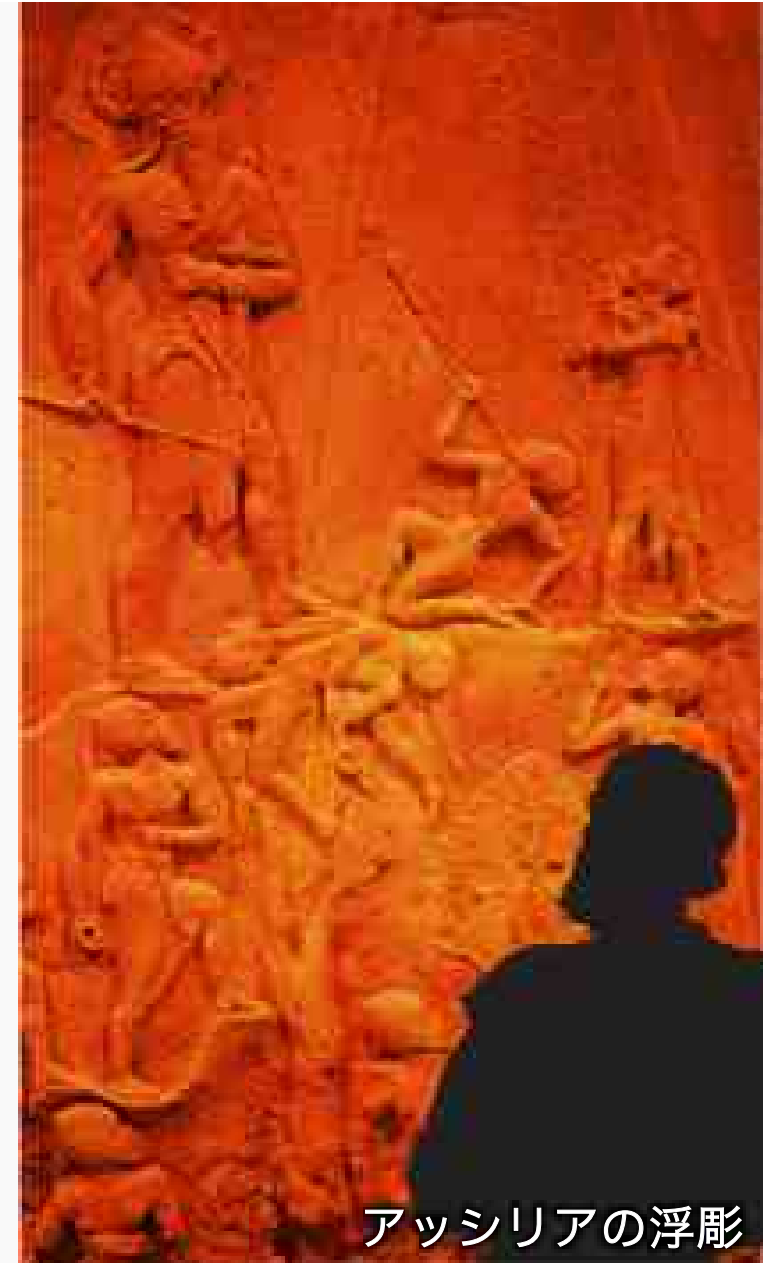


降伏勧告 疑念の喚起 イザヤ36:18~19

ヒゼキヤが、「【主】はわれわれを救い出してください」と言っても、おまえたちは、そのかさされないようにせよ。国々の神々は、それぞれ自分の国をアッシリアの王の手から救い出しただろうか。

ハマテやアルパデの神々は今、どこにいるのか。セファルワイムの神々はどこにいるのか。彼らはサマリアを私の手から救い出したか。

➡さらに、主への信仰を揺さぶる
諸国の神々も北王国も屈した。



アッシリアの浮彫

降伏勧告 侮りの宣告 イザヤ36:20

これらの国々のすべての神々のうち、だれが自分たちの国を私の手から救い出したか。

【主】がエルサレムを私の手から救い出せるとでもいうのか。』』

➡主なる神への決定的な侮蔑の言葉

生ける神をそしった報いが
アッシリアに下る



降伏勧告 沈黙 イザヤ36:21～22

人々は黙って、彼に一言も答えなかった。
「彼に答えるな」というのが、王の命令だったからである。

ヒルキヤの子である宮廷長官エルヤキム、書記シェブナ、アサフの子である史官ヨアフは、自分たちの衣を引き裂いてヒゼキヤのもとに行き、ラブ・シャケのことばを告げた。

➡ 激しい揺さぶりにも沈黙を通した人々

忍耐をもって試練を耐えた者に、主が応えられる





II. 神の預言とヒゼキヤの祈り

イザヤ書37章1～20

神殿の丘・西壁

主の預言 王の嘆き イザヤ37:1~2

ヒゼキヤ王はこれを聞くと衣を引き裂き*、粗布を身にまとして【主】の宮に入った。

彼は、宮廷長官エルヤキム、書記シェブナ、年長の祭司たちに粗布を身にまとわせて*、預言者である、アモツの子イザヤのところに遣わした。

*ともに嘆きの表現

➔預言者イザヤに使者を派遣した

ヒゼキヤが依り頼んだのは、主の御言葉



主の預言 苦難の日 イザヤ37:3

彼らはイザヤに言った。「ヒゼキヤはこう
言っておられます。『今日は、苦難と懲らしめ
と屈辱の日です。子どもが生まれようとしてい
るのに、それを産み出す力がないからです。』

＊産みの苦しみ…ヒゼキヤの信仰的表現

→信仰者に与えられる苦難は、
苦難のままで終わらない!!



主の預言 祈りの声 イザヤ37:4

「おそらく、あなたの神、【主】は、ラブ・シャケのことばを聞かれたことでしょう。彼の主君、アッシリアの王が、生ける神をそしるために彼を遣わしたのです。あなたの神、【主】は、お聞きになったそのことばをとがめられません。あなたは、まだいる**残りの者***のために祈りの声をあげてください。』」

*アッシリアの侵略を免れた者たち

➔“イスラエルの残れる信仰者たち”とも



主の預言 主の言葉 イザヤ37:5~7

ヒゼキヤ王の家来たちがイザヤのもとに来たとき、イザヤは彼らに言った。「あなたがたの主君にこう言いなさい。『【主】はこう言われる。あなたが聞いたあのことは、アッシリアの王の若い者たちがわたしをののしった、あのことは**恐れるな**。

今、わたしは彼のうちに霊を置く。彼は、あるうわさを聞いて、自分の国に引き揚げる。わたしはその国で彼を剣で倒す。』」

→**恐れからの解放を約束した、主の言葉**



再度の勧告 使者の帰還 イザヤ37:8~9

ラブ・シャケは退いて、リブナ* を攻めていたアッシリアの王と落ち合った。王がラキシュから移動したことを聞いていたからである。

王は、クシュの王ティルハカ* について、「彼があなたと戦うために出て来ている」との知らせを聞いた。アッシリアの王はそれを聞くと、使者たちをヒゼキヤに送って言った。

*エルサレムの南西40kmの町 *エジプト王

■アッシリアは、多方面に戦線を拡大中!!
エジプト支配下のエチオピアにまで!!



南王国には
幸いだった

再度の勧告 伝令 イザヤ37:10~11

「ユダの王ヒゼキヤにこう伝えよ。『おまえが信頼するおまえの神にだまされてはいけない。エルサレムはアッシリアの王の手に渡されないと言っているが。

おまえは、アッシリアの王たちがすべての国々にしたこと、それらを絶滅させたことを確かに聞いてい。それでも、おまえだけは救い出されるというのか。』

- この後の最盛期にはエジプトまで支配。史上初の世界帝国となるのがアッシリア。

アッシリアの脅しは
はったりではない





再度の勧告 アッシリアの破壊の足跡 イザヤ37:12~13

私の先祖は、ゴザン、ハラン、レツェフ、またテラサルにいたエデンの人々を滅ぼしたが、その国々の神々は彼らを救い出したか。

ハマテの王、アルパデの王、セファルワイムの町の王、ヘナやイワの王はどこにいるか。』』

王の祈り

イザヤ37:14~15

ヒゼキヤは、使者の手からその手紙を受け取って読み、【主】の宮に上って行き、それを【主】の前に広げた。

ヒゼキヤは【主】に祈った。



王の祈り

イザヤ37:16~17

「**ケルビムの上***に座しておられるイスラエルの神、万軍の【主】よ。ただ、あなただけが、地のすべての王国の神です。あなたが天と地を造られました。

【主】よ。御耳を傾けて聞いてください。

【主】よ。御目を開いてご覧ください。生ける神をそしるために言ってよこしたセンナケリブのことばをみな聞いてください。」

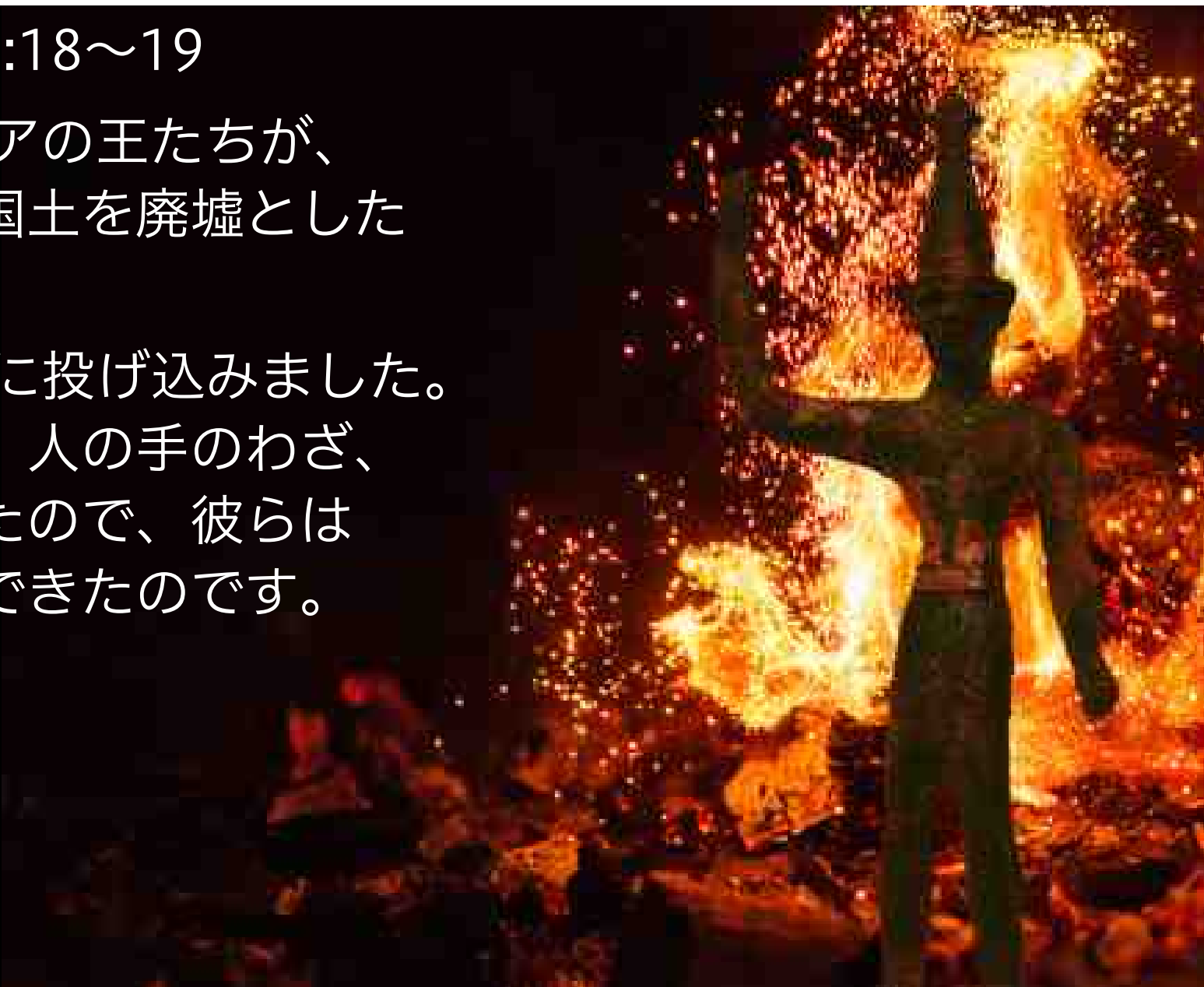
＊契約の箱の贖いの蓋・御使いケルビムの翼の間に、主の栄光が宿られていた。



王の祈り イザヤ37:18～19

【主】よ。アッシリアの王たちが、すべての国々とその国土を廃墟としたのは事実です。

彼らはその神々を火に投げ込みました。それらが神ではなく、人の手のわざ、木や石にすぎなかったため、彼らはこれを滅ぼすことができたのです。



王の祈り イザヤ37:20

私たちの神、【主】よ。今、私たちを彼の手から救ってください。そうすれば、地のすべての王国は、あなただけが【主】であることを知るでしょう。」

■ヒゼキヤが祈ったこと

- ①主だけが天地創造の唯一の神である
- ②主に刃向かえる者などいない
- ③イスラエルが救われ、全地が主を知るように





Ⅲ. 主の言葉・アッシリア王の末路

イザヤ書37章21～38

アッシリアの遺跡

主の言葉 返答 イザヤ37:21~22

アモツの子イザヤは、ヒゼキヤのところに人を送って言った。「イスラエルの神、【主】はこう言われる。『あなたはアッシリアの王センナケリブについて、わたしに祈った。』【主】が彼について語られたことばは、このとおりである。『処女である娘シオン*はおまえを蔑み、おまえを嘲る。娘エルサレムは、おまえのうしろで頭を振る。』

*主に背いたことのないイスラエルの残れる民
→アッシリア王がユダから侮蔑されるように!!



主の言葉 アッシリア王の罪 イザヤ37:23

おまえはだれをそしり、だれをののしったのか。だれに向かって声をあげ、高慢な目を上げたのか。イスラエルの聖なる者に対してだ。



シナイ山の朝焼け

主の言葉 アッシリアの傲慢 イザヤ37:24～25

おまえはしもべたちを通して、主をそしって言った。

「多くの戦車を率いて、私は山々の頂に、レバノンの奥深くに上って行った。そのそびえる杉の木と美しいもみの木を切り倒し、その果ての高地、木の茂った園にまで入って行った。私は井戸を掘って水を飲み、足の裏でエジプトのすべての川を干上がらせた」と。



主の言葉 背後の力 イザヤ37:26~27

おまえは聞かなかったのか。遠い昔に、わたしがそれをなし、大昔に、わたしがそれを計画し、今、それを果たしたことを。それで、おまえは城壁のある町々を荒らして廃墟の石くれの山としたのだ。

その住民は力失せ、打ちのめされて恥を見て、野の草や青菜、育つ前に干からびる屋根の草のようになった。

■世界帝国アッシリアも、神の御手の内に!!



主の言葉 御する御手 イザヤ37:28～29

おまえが座るのも、出て行くのも、おまえが入るのも、わたしはよく知っている。わたしに向かっていきり立つのも。

おまえがわたしに向かっていきり立ち、おまえの安逸がわたしの耳に届いたので、わたしはおまえの鼻に鉤輪を、口にくつわをはめ、おまえを、もと来た道に引き戻す。』

➡ 暴れ馬のようなアッシリアも

神の御手にかかれば逆らいようがない



主の言葉 しるし イザヤ37:30~31

あなたへのしるし*は、こうである。『今年は、落ち穂から生えたものを食べ、二年目は、それから生えたものを食べ、三年目は、種を蒔いて刈り入れ、ぶどう畑を作ってその実を食べる。

ユダの家の中の逃れの者、残された者は、下に根を張り、上に実を結ぶ。

*神がヒゼキヤの祈りに応えられた、しるし

■ 荒廃した土地からも糧が得て生きのび、
3年目には、平和な日々が戻ってくる。



主の言葉 熱情の神 イザヤ37:32～33

エルサレムから残りの者が、シオンの山から、逃れの者が出て来るからである。万軍の【主】の**熱心***がこれを成し遂げる。』

それゆえ、アッシリアの王について、【主】はこう言われる。『彼はこの都に侵入しない。また、ここに矢を放たず、これに盾をもって迫らず、塁を築いてこれを攻めることもない』

*“キナー” …熱意、熱情、ねたみ。

■民をねたむほどに愛される主が、アッシリアを撃退され、ユダを救われる。



主の言葉 **ダビデ契約** イザヤ37:34~35

彼*は、もと来た道を引き返し、この都には入らない——【主】のことば——。

わたしはこの都を守って、これを救う。わたしのために、わたしのしもべ**ダビデのために***』」

*アッシリア王

***ダビデ契約**…主が**ダビデ王**の系譜を守り、
やがて、その子孫に**メシア**を誕生させる。

■主は、ご自分の民への愛と熱情と、
一方的な約束のゆえ、イスラエルを守られる。



決着 主の裁き イザヤ37:36

【主】の使いが出て行き、アッシリアの陣営で十八万五千人を打ち殺した。人々が翌朝早く起きて見ると、なんと、彼らはみな死体となっていた。



決着 アッシリア王の死 イザヤ37:37~38

アッシリアの王センナケリブは陣をたたんで去り、
帰ってニネベに住んだ。

彼が自分の神ニスロクの神殿で拝んでいたとき*、
その息子たち、アデラメレクとサルエツェルは、
剣で彼を打ち殺した。彼らはアララテの地へ逃れ、
彼の子エサル・ハドンが代わって王となった。

*偶像には何の力もないと明らかに。

■ 20年後、センナケリブは息子たちによって
討たれ、主の御言葉の正しさが証明された。





IV. まとめと適用

ヒゼキヤの祈りに学ぶ 苦難の中の希望の礎

アッシリアの浮彫

アッシリアの侵略と解放・まとめ

- 北王国を滅ぼしたアッシリアが、ついにエルサレムを包囲。敵の使者ラブ・シャケが立ったのは、アハズに警告がされた広場。悪王アハズ以来、南王国は、侵略者の脅威にさらされてきた。
- 神と神の民への侮辱に、沈黙をもって耐えたヒゼキヤは、神の前で、主に祈りをささげ、イザヤに主の言葉を求めた。
- 主が応えられ、アッシリア王を裁き、エルサレムを守ると約束。
- 一夜にして、アッシリア軍は全滅。帰国したアッシリア王センナケリブは、偶像の宮で息子に暗殺。

ヒゼキヤの祈りに学ぼう

■ 祈りが応えられるために、何より必要なのは？

→ 主の求められること、神の真理を祈ること

■ ヒゼキヤが主の前で祈ったこと

① 主だけが天地創造の唯一の神である

② 主に刃向かえる者などいない

③ イスラエルが救われ、全地が主を知るように



ヒゼキヤの祈りに学ぼう

【ヒゼキヤの祈り】

①主だけが、天地創造の唯一の神である

■主だけが、礼拝し、賛美すべき方

■主だけが、世界を治めるすべての王国の真実の王

■主だけが、天地を創造され、時間をも超越した永遠の存在

ヒゼキヤの祈りに学ぼう

【ヒゼキヤの祈り】

②主に刃向かえるものなどいない

- 悪魔が破壊できる神は、人が作った偶像の神だけ
- 地上の敵も悪魔すら、神の御手の内にある
- すべての悪と不信仰者は、神の裁きを免れ得ない

ヒゼキヤの祈りに学ぼう

【ヒゼキヤの祈り】

③イスラエルが救われ、全地が主を知るように

- イスラエルは、神の約束のゆえ、見捨てられることはない。
- イスラエルが民族的回心に至り、救いに至る時が来る。
- 来たるべき神の王国で、すべての民が主を知り、崇める。

ヒゼキヤの祈りの背後にあるもの

- 預言者たちが告げた真理を、信仰者ヒゼキヤは正しく理解していた。
- イスラエルは、不信仰のゆえに懲らしめを受けるが、大患難を経て、残れる信仰者が民族的回心と救いに至る。
- 神の王国の実現まで、主が、契約のゆえにイスラエルを守られる。

神の計画を知り、信頼することが、苦難の中のカ

★ ヒゼキヤの祈りの学ぼう ★

- 私たち異邦人クリスチャンも、神の約束と計画の内にある。
主の再臨と全世界の回復をもたらす、イスラエルの救いを祈ろう。
- 見通しの効かない今の苦難の闇も、すべて払いとられるときが来る。
信頼を寄せた主の約束の御言葉が、私を支え、導いてくださる。
- 生ける神の御言葉こそ、栄光の主イエス・キリスト。
私のためにとりなされ、御霊と共に力づけ、助けてくださる方。
- 世に揺さぶられる、私の心も霊も、そのまま主に明け渡そう。
主に頼るしかない私を、主が奮い立たせ、押し出してくださる。

てん とう つみ
「天のお父さま。わたしの罪をゆるしてください

かみ こ
わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

① わたしの罪を贖うために十字架で死に、

はか ほうむ

② 墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ

③ 三日目に復活したこと、を信じます。

しゅ まえ てんち そうぞう ゆいいつ かみ
主よ。あなただけが、天地を創造された、唯一の神です。

さいあく てき よ ふじょうり みて うち
最悪の敵も、世の不条理も、すべてはあなたの御手の内にあります。

すく ぜんち しゅ し
イスラエルが救われ、全地が主を知りますように。

ふくいん かが しゅ ししゃ みたま み つか
福音を掲げる主の使者として、御霊で満たし、遣わしてください。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」